

ubuntu Linux 環境構築（ドキドキ☆編）

カーネルのコンパイル（情報収集中・いろいろ書きかけです）

■やっぱり必要になったか

できればカーネル周りのコンパイルは避けたかったですが、必要になってきました。見たり聞いたり試したりの結果をメモ的に。

■必要パッケージ

他の作業でインストール済みのものを書いてあったりなかったり。パッケージマネージャ使った方が依存関係とか分かりやすいです。sudo とか fakeroot とか面倒なんでルートのプロンプトで書きますが、ご容赦。

コンパイルに必要なパッケージ

```
#apt-get install build-essentials
```

menuconfig する場合
ncurses-dev が必要

```
#apt-get install libncurses5-dev
```

xconfig する場合
qt3 が必要

```
#apt-get install libqt3-mt-dev
```

カーネル本体

```
#apt-get install linux-source  
#apt-get build-dep linux-source-2.6.15
```

■展開とコンフィグ

/usr/src の下に linux-source-2.6.15.tar.bz2 とかがあはるはずなので

```
#cd /usr/src  
#tar jxvf linux-source-2.6.15.tar.bz2  
#ln -s linux-source-2.6.15 linux  
#cd linux
```

標準コンフィグ (?) をコピー

```
#cp /boot/config-2.6.15-27-686.config .config
```

好きにコンフィグ

```
#make config  
あるいは
```

```
#make menuconfig  
あるいは  
#make xconfig
```

■コンパイル

パッケージ作らずただコンパイルしたい場合

```
#make clean  
#make all
```

パッケージ作る場合

```
#make-kpkg clean  
#make-kpkg --append_to_version -1-i686 --initrd --revision=custom.1.0 kernel_image
```

--append_to_version の引数がカーネルのバージョンの後ろにつきます。--revision= はリビジョンです。